

学校法人 尚綱学園 広報誌
SHOKEI EDUCATIONAL INSTITUTION
PUBLIC INFORMATION

礎

ISHIZUE
2006.June vol.06

尚綱大学 オープンキャンパス ●文化言語学部 ●生活科学部 ●短期大学部

楡木キャンパス Nirenoki Campus 6.17 (sat) 7.29 (sat) 10:00~15:00

尚綱大学/文化言語学部 **文化言語学科** [4年課程] ■日本コース ■書道コース
■米英コース ■英語コミュニケーションコース

■学科説明/10:15~15:00 (15分ごとに随時行います。)

| | | |
|----------|--|---|
| 模擬 授業 | 日本コース ●「旅が好き!」10:15~11:00 ●「韓国文化」13:15~14:00 | 米英コース ●「英語を学ぶ楽しさ」 10:15~11:00/12:15~13:00 |
| | 書道コース ●「古今集の古筆切」11:15~12:00 ●「書はおもしろい」12:15~13:00 | 英語コミュニケーションコース ●「Meeting New People」 11:15~12:00/13:15~14:00 |



尚綱大/短期大学部 **幼児教育学科** [2年課程] ■学科説明/10:00~10:30, 12:30~13:00

| | | | | |
|----------|----------|--|----------|---|
| 模擬 授業 | 6/17 (土) | ●「アンパンマンの幼児心理学」10:30~11:00 ●「子どもの音楽あそび入門」10:30~11:00 ●「保育のしくみ」11:30~12:00 ●イメージ学習「鉛筆の散歩」13:00~13:30 ●「保育者ってなに?」14:00~14:30 | 7/29 (土) | ●「光るどろだんごの幼児心理学」10:30~11:00 ●「リズムに乗って動いてみよう!」10:30~11:00 ●「保育の仕事」11:30~12:00 ●紙工「うぐいす笛を作ろう」13:00~13:30 ●「保育者へのお誘い」14:00~14:30 |
|----------|----------|--|----------|---|

■受付
9:30~14:30 [管理棟前]

■昼食
昼食は11:00~14:00の間に自由にどうぞ。
軽食を用意しております。(無料)

■キャンパスツアー
集合場所にお集まり下さい。校内を学生がご案内します。
希望者には見学の最後に学生寮もご案内します。

■展示・イベント
学生ホールで展示とイベントを行っております。
ご自由にご覧ください。また、校内にクイズやピアノなどの
プレイゾーンを設けております。お気軽にご参加下さい。

■個別相談 [進学・就職等]
学生ホールで随時対応。
*文化言語学科は司書と留学のコーナー、
及び学生との懇談コーナーを設けています。

■集
合
場
所

●文化言語学科 大学1号館玄関
[11:00, 12:00, 13:00, 14:00に出發します。]
●幼児教育学科 管理棟玄関横
[人数が集まり次第、随時出發します。]

お問い合わせ先 【入試センター】
〒861-8538 熊本市楡木 6-5-1 TEL 096-338-8840

九品寺キャンパス kuhonji Campus 6.17 (sat) 7.29 (sat)

■昼食/軽食は11:00~14:00の間に自由にどうぞ。軽食を用意しております。 **無料**

尚綱大学/生活科学部 **栄養科学科** [4年課程] 尚綱大学/短期大学部 **食物栄養学科** [2年課程]

| | | |
|--|----------|--|
| ■受付/12:00~13:00 [1号館前] ■全体説明/13:00~14:00 ■模擬授業/14:00~[同時開催] ■学内施設見学・個別相談 終了/16:00 | 6/17 (土) | ●「健康長寿の栄養学」 ●「若い女性の骨づくり」~運動と栄養とホルモン~ ●学内施設見学・個別相談 ~16:00 |
| | 7/29 (土) | ●「健康長寿の栄養学」 ●「乳酸菌と健康」 ●学内施設見学・個別相談 ~16:00 |



尚綱大学/短期大学部 **総合生活学科** [2年課程]

| | | |
|----|--|--|
| 午前 | ■受付/9:30~10:00 ■全体説明会/10:00~10:30 ■模擬授業/10:30~11:50 [同時開催] ■学内施設見学・個別相談 | ●住居・インテリア分野 「世界の多様な住居とインテリアコーディネーター資格」 10:30~10:50 ●福祉分野 「ホームヘルパーの介護活動と福祉住環境コーディネーター資格」 10:50~11:10 ●食品分野 「フードスペシャリストって何?」~食品の生産、流通、消費~ 11:30~11:50 ●情報分野 「オリジナルポストカード作成体験講座」 11:30~11:50 ●学内施設見学・個別相談 11:50~13:00 |
| | 午後 | ●住居・インテリア分野 「世界の多様な住居とインテリアコーディネーター資格」 13:30~13:55 ●福祉分野 「ホームヘルパーの介護活動と福祉住環境コーディネーター資格」 13:55~14:20 ●食品分野 「フードスペシャリストって何?」~食品の生産、流通、消費~ 14:20~14:45 ●情報分野 「オリジナルポストカード作成体験講座」 14:45~15:10 ●学内施設見学・個別相談 15:10~16:00 |

問い合わせ先 【入試課】 〒862-8678 熊本市九品寺2-6-78 TEL 096-362-2011

尚綱の全てがわかります 尚綱高校体験入学
日時/7月21日(金) 9時30分 場所/中学校舎5F

学校法人 尚綱学園

〒862-8678 熊本市九品寺2丁目6番78号 TEL.096(364)0116 FAX.096(363)6520
尚綱大学 <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/shokeico/> 尚綱高等学校 <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/shokeih/>
尚綱短期大学 <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/shokeitandai/> 尚綱中学校 <http://www.shokei-gakuen.ac.jp/shokeij/>

尚綱はさらに深化します。

新しい時代の「良妻賢母」が集う学び舎から。

建学の精神が支える

女性のためのステージ

今は遙か1888（明治21）年に開校した済々黌附属女学校を源とする尚綱学園。「知徳併進」を建学の精神に、知育、徳育、体育を重んじ、良妻賢母の育成を目的に女子教育に貢献してきました。以降、熊本地域における女子総合学園として時代のニーズに即した

に営みうる女性こそ、時代が求める「深化」した良妻賢母です。社会で活躍する女性が、いつの日も伸びやかにその個性を輝かすことができるよう、本学園はここに集い学ぶ女性たちの支えとなるべく、その役割を果たしていきま

部として、総合生活学科、食物栄養学科、幼児教育学科の三学科体制としました。更に大学に新学部を誕生させました。それが生活科学部 栄養科学科の新設です。これまでも本学園では将来の社会的ニーズに添えるべく、管理栄養士の育成に力を注いできました。その意図は、4年制の学部学科の設置にあり、今春の開校はその計画の実現にほかなりません。単なる管理栄養士の養成にとどまらず、高度な栄養管理能力を身に付け、社会からの要請に応え、貢献できる「食のスペシャリスト」として育ち、活躍できる人材の育成をめざし、新たなスタートを切ることとなりました。

食のスペシャリスト育成のために

尚綱大学は従来の文学部を文化言語学部へ改組し短期大学を短期大学

こととなりました。



新学部誕生
新校舎落成

礎 いしづえ | vol.06 Contents

| | |
|----------------------|----|
| ◎巻頭特集 | 巻頭 |
| 新学部誕生。 新校舎落成。 | |
| 先端設備、新校舎で時代の「食」を科学する | 02 |
| 開かれた学園を目指して | 03 |
| 3学科は食のスペシャリストを育成する | 04 |
| 生活科学部のニューフェイス | 05 |
| 熊本の食はわたし達が守ります | 06 |
| 社会が魅せられる学び舎を旨ざして | 07 |
| 【尚綱学園史】明治のオルガン | 08 |
| キャンパス イベント レポート | 09 |
| オープンキャンパス | 巻末 |



多目的ホール



カフェ グランアンプル



ヤマザキショップ



●施設構成図



設備概要

| | |
|------|---|
| 設計 | 有限会社梵建築設計事務所 |
| 施工 | 株式会社奥村組 九州支店 |
| 工期 | 平成17年3月1日～平成18年2月28日 |
| 構造 | SRC造 10階建て |
| 高さ | 44.9m |
| 建築面積 | 712.12㎡ |
| 床面積 | 5,364.55㎡(1,625坪) |
| 所要資金 | 約15億円 (短大第9校舎改修工事、外構工事、植栽物移植工事、既存建物取壊し工事等の関連工事費を含む。) |



4F 栄養調理実習室があり、高速ガスオーブを備えた学生用調理台11台、昇降式バリアフリー型調理台1台を設置、多種の調理実習が行えます。

5F 栄養教育実習室があり、栄養評価に関する、各種計測機器やエネルギー消費の測定機器を設置。



◀メタバイン
栄養状態や生活活動状況、食事量のエネルギー代謝測定装置。



▲ロータリーエバポレータ
多用途に対応できる濃縮装置。多種分析の前処理、溶媒の分離・精製、抽出溶媒の除去、試料の乾燥・脱水に使用。

6F

臨床実験室があり、また、健康増進関連器具や体力・疲労検査器具、それに臨床・生化学検査の測定器具やノートパソコンも完備。



◀トレッドミル
5種類のオートプログラム機能を有し、ウォーキング、ジョギング、ランニングの運動を行い、消費カロリーや心拍数を表示することができます。

7F

教員研究や卒業研究のための精密機器室があり、高速液体クロマトグラフやガスクロマトグラフなど優れた機器類が完備。



▲ガスクロマトグラフ
試料をガス化して分離分析、主に脂肪酸などを分析。



▲分光光度計
応用範囲が極めて広い分析装置で溶液試料についてはスペクトル測定による試料の同定や、化合物の電子状態の研究などほとんどの陽イオン、陰イオンの定量分析に利用できます。

開かれた学園を目指して。

新校舎の最大の長は、十階に設けた二百三十二席を有する多目的ホール。筆記台付きの椅子を導入、DVDやVHS、パソコンへの接続が可能な高輝度プロジェクターを採用しています。ホール内の残響時間は催し物に合わせて対応できる設計。最新の音響映像装置を備えているためミニコンサートホールとしての使用にも対応でき、カメラとマイクによるビデオの収録も可能です。

一階フロアにあるのは、(株)尚綱サポートセンターが運営する「カフェグランアンプル(学生食堂)」と「ヤマザキショップ(売店)」。学生への福利厚生の一環として、メニューや商品は価格を抑えて提供しており、学園に対してもその利を還元するシステムとなっています。食堂は二百名が一度に利用できるゆとりあるスペース。厳選された水や米、みそ、しょう油を用い、熊本産を中心に揃えた旬の食材を盛り込んだ日替わりメニューを楽しめます。将来は、栄養士育成課程を有する大学ならではの「食育発信のステージ」として、メニューの作成に学生が参加するプロジェクトの検討も進められています。

将来、(株)尚綱サポートセンターは、食堂や売店同様に多目的ホールの運営にも携わり、広く一般の方にも開放する予定。社会に役立つ施設として愛される開かれた学園の象徴となることをめざしています。

3学科は食のスペシャリストを育成する。

生活科学部
栄養科学科
管理栄養士

短期大学部
食物栄養学科
栄養士

短期大学部
総合生活学科
フードスペシャリスト



時代の要請に対応した管理栄養士育成に向けて、平成十八年度に開設。四年間の課程では、教養教育課程と専門教育課程を設け、保健・医療・福祉などの現場で幅広い視野のもとに判断できる人材育成を図ります。保健医療チームの一員として、高齢化社会における豊かな人間性と高い専門性を備えた栄養管理者として、二十一世紀社会の健康と栄養の問題に積極的に貢献するための教育と研究に取り組めます。卒業と同時に栄養士資格と管理栄養士国家試験の受験資格も取得できるため、卒業後すぐに管理栄養士としての道が開かれます。

基礎理論から学外での実習にも力を入れ、即戦力として社会に役立つ深い専門知識と実践的な技能の習得に重点を置いた教育を推進。建学の精神にもとづく高い教養も身につけた「食の専門家」の育成をめざしています。卒業生は、病院や福祉施設などの各分野で九州一円において活躍しており、県内の栄養士・管理栄養士の70%を占めています。卒業後は、三年間の実務経験をを経て管理栄養士国家試験の受験資格を取得。試験合格者は全国における短期大学のトップグループに入っており、その教育課程に高い評価を得ています。

フードスペシャリストとは、食品企業やホテル・レストランなどで食品の味の評価、顧客に対する情報提供・販売促進、快適な食事をコーディネートする専門職です。これまで流通や販売といった消費者に近い位置には専門家があまりいませんでした。そこで消費者サイドに立つ「食」の専門家として誕生したのがフードスペシャリストです。本学はフードスペシャリスト養成認定校なので、所定の単位を修得して、資格試験に合格すれば資格を取得できます。将来、食品の流通・販売、ホテル、レストランなど「食」に関する仕事に就きたい人にはお勧めの資格です。



生活科学部のニューフェイス



山本 麻美 (18才)
阿蘇高校出身

◎この学科を選んだ理由
私は小学生の頃から給食が好きで給食の先生も優しく様々な事を教えて下さるとても良い先生だったので、私もそのように思われる栄養士になりたいと思います。基礎からしっかり学ぶ事ができるこの栄養科学科を選びました。

◎入学して良かったこと
同じ夢に向かって頑張っている人達に囲まれて、共に努力し成長できること、きちんとした施設が整っている環境で勉強に打ち込むことができることが入学して良かったことです。

◎将来の希望職種
給食に携わる仕事



安川 裕香 (18才)
玉名高校出身

◎この学科を選んだ理由
私は小さい頃から料理をしたり料理の本を読んだりする事が好きで、食べる事が大好きでした。そこで、食に関する仕事に就きたいと思い、病気の人も健康でかつ楽しく食事ができるような献立を考えられるような管理栄養士になりたいと思います。この学科を選びました。

◎入学して良かったこと
勉強しやすい環境が整っている。
先生が熱心に教えて下さる。
友達もみんな優しく、自分の夢にむけて努力をする人が多い。
少人数なので、生徒全員と関わる機会が多く、先生方も個人授業を行っている感じがして授業に集中できる。
基礎から丁寧に授業を教下さるので、化学や生物を学んでいなくても分かりやすい。

◎将来の希望職種
1.病気の一人一人ときちんと話し、個人個人に合った食事を考えられる管理栄養士。
2.献立作成だけではなく、自ら病院や学校で調理をしてみたいです。
3.子供や大勢の人に食の大切さや楽しさをきちんと指導できる人になりたいです。



野村 玲子 (18才)
第一高校出身

◎この学科を選んだ理由
私は、将来管理栄養士となって高度な栄養知識を身につけ、社会の役に立ちたいと思ったからです。また、栄養科学科は4年制大学であり、取得資格も幅広く、将来の視野も広がると思ったからです。

◎入学して良かったこと
・管理栄養士に関する専門分野が多く学べる。
・教科書が化学、生物を習っていない人のためにもわかりやすいものが選ばれている。
・教養教育課程で英語コミュニケーション能力、文章表現能力の習得など、国際社会で働きたい人にとって大変うれしい。

◎将来の希望職種
1.スポーツに関する管理栄養士
2.選手村で役立てるような管理栄養士



長田 歩 (18才)
熊本北高校出身

◎この学科を選んだ理由
私がこの道に進もうと決心したのは高校3年生の時でした。管理栄養士という資格を持ち、看護師や理学療法士の方と共に医療現場の一員として働きたいと思ったからです。だから、管理栄養士養成課程である栄養科学科を選びました。

◎入学して良かったこと
・講師の先生方に気軽に相談できるので、安心して大学生活を送ることができる。
・設備の充実した新しい校舎で学べる。
・基礎セミナーで自己表現力や自分の頭で考える力をつけることができる。
・専門的なことだけではなく、いろいろな知識を得ることができる。

◎将来の希望職種
1.管理栄養士になって、医療機関で働きたい。
2.地域の老人介護施設や保育園などで栄養管理の仕事がしたい。



尚綱大学生活科学部教授
社団法人熊本県栄養士会前会長
鏝 吉 さん

地域が求める人材育成に期待。

栄養士会の運営に携わった経験から感じるのは、尚綱学園出身の方々は地域社会が必要としている管理栄養士、栄養士像にぴったりと合致しているということ。これからの現場が求める人材を象徴するキーワードは「連携と共働」。高度な知識と技術の習得はもちろん、高いコミュニケーション能力を備えていることが必要です。この点で、尚綱学園は建学の精神に基づく教育により、穏やかで礼儀正しい人格を備えた人材を輩出し、高い評価を得ているのです。今年開設した栄養科学科では、県下有数の最新設備を用い、今まで以上に高度な教育が行なわれます。4年後、時代のニーズに即応できる能力を備え、地域社会におおいに貢献できる新しい管理栄養士の誕生を楽しみにしています。

熊本の食はわたし達が守ります。

管理栄養士
平成3年度 短大食物栄養専攻卒業
矢野 圭子さん
日本赤十字社熊本健康管理センター勤務



GRADUATE INTERVIEW

知識と技術を生かし、
チーム医療の一環を担う。

栄養士は、病院や施設などの栄養管理や給食管理が業務の中心。対して管理栄養士は、患者のベッドサイドまで行き、個人に合わせた食事支援を行うことができます。より、専門的な知識と技術を生かすことができます。今後、アメリカで定着している医師と看護師、薬剤師、管理栄養士が一体となったチーム医療が熊本でも取り入れられるようになると思います。そこで大切なのは、在学中に多くの実習を経験し、早く自分に合う勤務先を見つけること、目標となる方と出会うこと、人が好きで、コミュニケーション能力を備えていることなども重要だと思っています。また、インターナショナルな場に立つことも視野に入れ、英語力なども磨いてほしいですね。

管理栄養士
平成13年度 専攻科食物栄養専攻修了
野村 幸代さん
地域医療センター栄養科勤務



GRADUATE INTERVIEW

より深く、具体的で実践的な
授業で念願の資格取得を現実化。

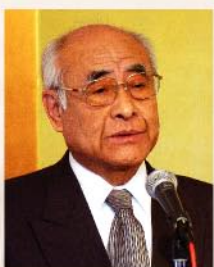
栄養士という仕事を目標にしたのは高校時代。「人間の生活において、食はなくてはならない大事なものの関わり深いもの」ということを改めて考え、本学で栄養士を目指すことにしました。しかし、卒業を目前にした時、学生時代の時に管理栄養士の受験資格まで取得したいという思いが高まり、専攻科へ進む道を選びました。短大時代より授業の内容はさらに深く、実習はより具体的でより実践的に。栄養士を取得するための研究論文では、夏休みも返上して研究室に通いました。おかげで念願の栄養士の学位も取れました。同じ研究室の仲間との絆が深まり、無事にやり遂げた自分に自信が持てるようになりました。現在、管理栄養士として病院に勤務。学生時代の知識を基礎に、現場に出てからも勉強の毎日です。

■管理栄養士の実績

| 卒業年度 | 新卒受験者数 | 新卒合格者数 | 専攻科合格率 | 全国平均合格率 |
|------|--------|--------|--------|---------|
| 16年度 | 26 | 14 | 53.8 | 25.3 |
| 15年度 | 23 | 11 | 47.8 | 15.6 |
| 14年度 | 21 | 12 | 57.1 | 19.8 |
| 13年度 | 25 | 17 | 68.0 | 20.9 |
| 12年度 | 28 | 16 | 57.1 | 21.4 |
| 11年度 | 28 | 15 | 53.5 | 22.7 |
| 10年度 | 18 | 12 | 66.6 | 30.1 |

専攻科の管理栄養士国家試験合格者数は、短大としては九州でもトップクラスであり、また熊本県下の栄養士の70%以上を、短大専攻科食物栄養専攻の卒業生が占めています。下の表は、専攻科(短期大学食物栄養専攻を除く。)新卒者の管理栄養士国家試験受験者数と合格率です。平成17年までは、管理栄養士養成大学(4年制)の卒業生は6科目が免除されていました(平成18年から免除はなくなります。)が、本学専攻科の数字は免除なしでの数字です。

社会が魅せられる 学び舎を目ざして



尚綱学園理事長
江口 五郎

世界で最も治安が行き届き、安全だと言われてきました我が国で、毎日のように悲惨な事件が起きています。その多くに、若者がかかわっているのです。我が国の若者達は複雑かつ急速な社会の変化に翻弄され、自ら進

校として熊本の地に産声をあげました。尚綱(表を飾ることなく心を磨く)、貞操、敬愛、勤儉、報恩を建学の精神として、太平洋戦争終結後高等女学校に加え中学校、短期大学(昭和二十七年)、大学(昭和五十年)

て然るべきであろうと強く思うのであります。ときに、本学園は百二十年来に培い地域社会から厚い信頼を得てきましたが、ともすると伝統に頼りすぎ、学び舎に求めら

むべき道を見い出せないのでは。世の識者達は、人々に心をとり返させることのできる、ゆとりある教育の必要性を声高に説いておられます。尚綱学園は、明治二十二年に我が国では数少ない魁的女学

を設置し、時々の社会に貢献できる心豊かな女性の育成をめざす、総合的女子学園として今日に至っています。これら五つの語句にこめられた精神は、今や我が国の子供達や青少年を教育する上で厳しく再認識され

れる。不断の改革への注力がこゝとに近年不足がちでありました。ために、社会の急速な少子化、大卒に対する社会的ニーズあるいは、学齢期に達した青少年の志向やニーズ等への対応がおくれがちとなりました。

我が国の社会の厳しい現状及び今大学に何が求められているかに格段の思いを馳せ、今こそ本学園が掲げる建学の精神に立ち返り、将来の社会に貢献できる謙虚であり聡明であり、なおかつ力強い近代女性の育成を目ざして生まれ変わるべく努力を傾注しつつあります。今春からスタートさせた大学と短期大学の二元化、大学の生活科学部栄養科学科の新設、文学部の文化言語学部への改組、それに短期大学の三学科体制の確立と充実、尚綱学園改革の第一歩であり、今後、中・高等学校の改革に着手すると共に、大学の更なる充実と近代化に鋭意取り組みつつあります。

今年も明日への希望を胸に、多くの卒業生が旅立ち、また、入学の喜びと戸惑いを持ち、尚綱の門へと新入生が集いました。

平成17年度 卒園・卒業式 附属幼稚園・中学・高校 短大・大学

附属幼稚園：3月17日（金）、幼稚園遊戯室、110名
中学：3月3日（金）、中学校5階ホール、30名
高校：3月1日（水）高校体育館、301名
短大・大学：3月15日（水）、熊本県立劇場、470名

平成18年度 入園・入学式 附属幼稚園・中学・高校 短大・大学

附属幼稚園：4月14日（金）、幼稚園遊戯室、104名
中学・高校：4月10日（月）、高校体育館、高校271名、中学24名
短大・大学：4月7日（金）、熊本県立劇場、504名



尚綱大学文化言語学部文化言語学科書道コース助教授

伊織洋一（蘇峰）先生 日展「特選」受賞

平成十七年十一月、東京都美術館で開催した「第三十七回日展五科『書』」全国から寄せられた三千三点もの作品の中から、伊織洋一先生の出品作品が見事「特選」を受賞しました。十歳ごろから書に親しんでこられた伊織先生、自分らしさを大切にしつつ、尊敬する王羲之の古典などに見られる品格も書の作品にとって重要であるとの考えのもと、三カ月にわたって今回の作品に取り組みされました。今年二月には先生の栄誉を祝う祝賀会を開催。熊本県文化協会、熊本県書道連盟などの方々をお迎えして盛大に催されました。さらに、五月三十日には熊本県文化懇話会、文化協会総会で第四十一回熊本県文化懇話会新人賞を受賞されました。



伊織洋一（蘇峰）先生
昭和31年6月21日、熊本県出身。奈良教育大学専攻科修了。
日展会友、読売書法会理事、日本書院評議員、長興会理事。受賞歴/日展入選12回



第三十七回日展五科「書」部門
特選「杜牧詩」
最も意識したのは潤濁、線の伸びに影響する墨の濃さ。木簡のおおらかさを失わない字形、余白を含めた全体構成にも配慮しています。素材さ、柔らかさ、切れ味を意識した線質でいきいきとした作品をめざしました。

高等学校 1・2年生参加の 金峰山登山大会 開催

3月10日、前夜の雨も上がり、二の丸公園を元気よくスタート。黙々と歩く班もあれば、おしゃべりと笑い声の絶えない班あり、大将陣よりいよいよ頂上を目指す。猿すべりをあえぎあえぎ登る。班のメンバーもばらけ「きつい!」「まだですか!」の声が聞こえる。胸突き八丁を何とか頑張り最後の階段を切り切るとへたり込む者も多数。頂上での楽しい昼食後復路へ。4時10分までには約16kmを完歩し、全員ゴール。お疲れさん。交通指導にあたっていただいた保護者の方に感謝致します。



明治のオルガン



平成八年八月二十日、鹿本郡植木町在住の遠山祥一郎さんから校史資料室で保管しているオルガンを見学したいという手紙をいただきました。遠山さんは、オルガン奏者として活動するかたわら、十九世紀のオルガン音楽への興味からリードオルガンの研究者でもありました。本校では、平成五年から校史資料室で四台のオルガンを保管してまいりました。遠山さんは、故尚綱短期大学谷脇敬二教授（美術）をはじめ、同窓会関係者からこの情報

をもらったそうです。同月二十七日、遠山さんが来校され、オルガンを調査されました。その結果、二台が明治時代後期、二台が大正時代のものであることが判明しました。明治時代後期の二台は、ヤマハ（本社 静岡県浜松市）製造の楽器でした。翌日、遠山さんから連絡が入り、製造番号から明治四十年、四十一年ごろの製造であることが確認されました。国産のリードオルガンは明治二十三年頃から製造が始まりました。しかし、古い楽器は



代に明治時代のオルガンが保管されていることをマスコミに公表してよいかという問い合わせ

関東大震災などで、ほとんど残っていません。本校では、このオルガンを昭和二十五年ごろまで音楽の授業などに使っていました。また、電気がなかった時代の名残で、楽譜を見るための蠟燭を立てる燭台が鍵盤の両端についていました。九州の記念館などで公開中のオルガンでは最古のものでした。熊本市では平成八年十月二十四（三十日）に熊本岩田屋（現熊本阪神デパート）で第九回県民文化祭「熊本市「明治は語る」が開催されました。遠山さんは、この企画に参画していたので、早速その資料発掘に当たっていた健康文化ホールに連絡が行きました。館長の武藤輝彦さんが二度にわたって来校され、校史資料室を見学されました。その後、武藤さんから尚綱高校

せがあり、公表することになりました。当時、九州のテレビ局が協力して「We Love九州」というテレビ番組（三十分）を製作していました。テレビ熊本（TKU）では、遠山さんの活動を中心に「大合唱 よみがえったオルガンの音」というタイトルの番組を作りました。この中で、本校保管のオルガンが紹介されました。この番組を見ておられた方々から相当の反響がありました。また、県民文化祭にも出品の依頼があり、「制服を着た人形五点」、「明治の教科書 十点」（馬原文庫）「明治時代のオルガン二台」が本校から提出され、展示されました。ちなみに、「馬原文庫」は、本校を明治時代に卒業された馬原とくさんが生前使用されていた教科書を、平成三年七月に熊本市川尻在住の馬原カミエさんが寄贈されたものです。同年十月五日付け、熊日新聞でも紹介されました。本校では、目録を作り、校史資料室で保管しています。現在、このオルガンは十年たった今日でも音は弱くなりましたが、音色を聴くことができます。今後も尚綱の「宝」として、大切に保存してゆきたいと思っています。